

 大地がくれる絆を、もっと。

みのり

11

No.309

2019.11



新しい夢 **どんだん**

 育てよう明日を

JAグループ鹿児島

 **鹿児島きもつき**

<http://www.ja-kagoshimakimotsuki.or.jp/>



第68回県畜産共進会

県経済連は9月28日、県内の肉用牛振興と改良増殖を目的に、第68回鹿児島県畜産共進会を霧島市の始良中央家畜市場で開きました。

県内11地区で選ばれた70頭が、4部門で審査。当地区は13頭を出品し、団体知事賞に輝きました。

当地区出品牛の成績は、次のとおりです。

【若雌1区】 (最優秀賞)

▽2席 西元裕樹さん「つとむの61」(田代) ▽7席 鳥丸美知也さん「ゆきはな」(高山) ▽11席 稲



成雌区1席・後軀賞に輝いた青木さんと「さくら4の10」

団体知事賞を受賞!!

隈哲夫さん「あや」(東串良)
(優秀賞)

村商株式会社「いの3」(高山)

【若雌2区】 (最優秀賞)

▽1席 鶴田洋行さん「つるまる」(根占) ▽3席 永田客蔵さん「ふくこ」(東串良) ▽5席 西元裕樹さん「こはる」(田代) ▽9席 村商株式会社「よしみ」(高山)

【父兄群】 (最優秀賞)

▽2席 外園龍一さん「ゆきよ」・同「ぼたん」・川路博人さん「さく



若雌2区1席獲得に笑顔の鶴田さん家族

ら51」(東串良)

【成雌区】 (最優秀賞)

▽1席 後軀賞 青木春佑さん「さくら4の10」(串良) ▽3席 鶴田洋行さん「ゆりこ1の4」(根占)

大嘗祭に備える米・粟を収穫 「抜穂の儀」で実りに感謝

当JAは、11月の大嘗祭(だいじょうさい)に供える米と粟(あわ)を収穫するため、神事「抜穂(ぬいぼ)の儀」を執り行いました。

10月1日、献上米の神事には、米を育てた錦江町の弓指義洋さん・久美子さん夫妻やJA、錦江町や県の関係者など約40名が出席。弓指さん夫妻ら代表者8名が、鎌で稲穂を刈り取り、束に結って神前に供え、玉串を奉納して神様に感謝しました。

10月7日、粟の神事には、献殺者で垂水市の川畑淳さん・カズエさん夫妻やJA、垂水市や県の関係者など約40名が出席。粟畑の横に設置した神棚へ、刈り取った粟を供えました。

弓指さんは「献殺者の重圧も感じていたが、天候にも恵まれ、JAの協力をもらいながら良い米を栽培できた」と笑顔で語り、川畑さんは「苗

を雨風から見守るため、畑に数時間立った日もあった。無事に実って安心している」と喜びました。



献上米を刈り取った弓指さん夫妻



献上する粟を刈り取る川畑さん夫妻

農家と職員が人命救助！

消防から表彰



表彰状を受け取った永田さん中央④と橋元さん

肝属中央家畜市場内で倒れた男性の人命救助に貢献したとして、鹿屋市の肉用牛生産者・永田幸一さんと当JA中部ブロック・畜産指導員の橋元勇さんが、大隅肝属地区消防組合から表彰されました。

同消防本部によると、8月30日午前10時50分頃、畜産共進会のため同市場を訪れていた50歳代男性が、知人と会話中に突然倒れ、現場に居合わせた永田さんが、意識を確認して胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始。その間に橋元さんが、市場に備えて

あった自動体外式除細動器（AED）を起動し、2人で心肺蘇生を施したといえます。男性は、病院へ向かう救急車の中で自己心拍を再開し、病院でのリハビリを経て、9月下旬に、後遺症なく農業に復帰することができたそうです。

永田さんは「農家の仲間を助けられたことがうれしい。後遺症も残らなかったようで安心している」と語りました。

男性を治療した池田病院の医師は「病院に搬送してからの心肺蘇生では、後遺症が残る可能性が高かった。迅速で適切な救命措置を行った2人に感謝する」と称えました。



心肺蘇生法を訓練する役職員ら

当JAでは、職員らが、消防団などの地域活動に積極的に参加するよう「1職員1地域活動」を推奨しています。また、今回の件をきっかけに、10月21日に、AEDの講習会や認知症サポーター養成講習会を開きました。職員を中心とした約50名が参加。受講した職員は「正しい知識を身につける必要を感じた。定期的に受講することで、いざという時に役立てたい」と語りました。

サトイモの出番

栽培意欲高まり面積増

当JA管内で、サトイモの出荷が始まりました。

JA串良支所によると、定植期に雨が続いた影響で、やや緩やかに出荷が始まったが、現在は、肥大・品質も良好で、順調な出荷が進んでいるといえます。

また、JA田代支所管内においても順調な出荷が続いています。田代支所管内のサトイモ栽培は、4年前から始まりました。JAや錦江町などが地域の新規作物として導入。面積拡大や営農指導に取り組み、徐々に普及しました。現在の栽培面積は、町全体で520㍍まで拡大しています。

管内産のサトイモは、多くが契約



掘り取ったサトイモを選別する生産者（串良地区）

出荷で価格が安定しているため、生産者の栽培意欲が高まっており、令和元年産は、管内全体で、前年の栽培面積より約2割増の約20㍍を作付しています。生産者49名で約358㍍の出荷を目指します。

JAは今後、計画出荷や家庭選果の徹底、病害虫防除を生産者へ促し、品質維持に取り組み方針です。

ブロッコリー定植始まる

雨不足で灌水呼び掛け

当JA管内で、ブロッコリーの定植が始まりました。

JA大根占支所によると、定植作

業は順調に進んでいるが、雨が少なく、根の付きがやや遅れているため生産者らに、定植後の灌水（かんすい）を呼び掛けているといいます。

同支所管内では、ブロッコリーが栽培しやすく、近年の販売価格が安定していることから、栽培面積が増加しています。同支所によると、令和元年産は、約2・5haを計画しているが、計画を上回る栽培希望があるといいます。

同管内の上堀内弘樹さんは、今年産から新規でブロッコリーを作付けた一人。大根占地区内の約60haを栽培します。上堀内さんは「栽培管理のしやすさや、収穫にかかるコストを考慮して、栽培を始めた。しっかりと管理して良質なブロッコリーを消費者に届けたい」と意気込みを語りました。



ブロッコリーを植える上堀内さん

外国人技能実習生へ衣服を寄付 秋冬250点をリユース



衣服を手に喜ぶ実習生ら

J Aの子会社・アグリオン鹿屋は、11月から外国人技能実習の3期生として、3名のカンボジア人を受け入れます。同国は、年間を通じて温暖な気候のため、実習生らは、来日後すぐに秋冬の衣服が必要になります。そこで、その購入負担を少しでも抑えてもらおうと、J Aの女性職員5名でつくる「きもつきアンバサダー」が、熊本県合志市にある外国人技能実習生の研修施設を訪れ、実習生らへ、J A職員から集めた秋冬の衣服約250点を寄付しました。

集めた衣服は、同研修施設で日本語や作業実習などを学ぶカンボジア

人やベトナム人の実習生ら全10名へ手渡し、衣服を受け取った実習生らは、すぐに衣服を広げて喜び、好みの服を手に取りました。

プロジェクトメンバーでJ A経営総務部の妹尾優花さんは「感激で涙

「辺塚だいたい」収穫に役職員らを派遣

当J Aは10月上旬、特産の「辺塚だいたい」の収穫に、役職員ら約30名を派遣しました。

辺塚だたいは、地理的表示保護制度（GI）を取得したことなどにより、生産者の栽培意欲や6次化に弾みがつき、産地では、苗木の導入や栽培面積拡大、商品開発などを積極的に進めています。

商品の開発や製造には、多くの搾汁液を要するため、計画的な収量確保が重要となります。J A内之浦支所が、事前に生産者への聞き取り調査を行ったところ、順調に結実しているが、急こう配などで収穫が困難な園地や、高齢の生産者も多いことから、収穫の応援を求める

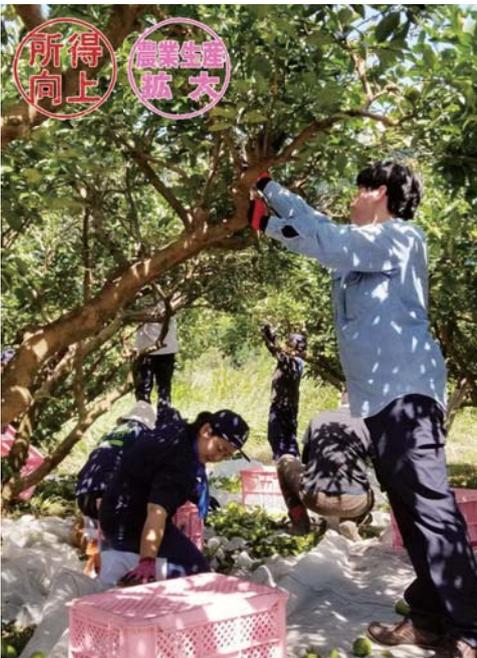
を流す実習生もいた。喜んでもらえてうれしい」と語りました。

実習生らは、プロジェクトメンバーらへ感謝を込め、覚えてたの日本語で、日本の歌を披露しました。

声もあり、J Aは、緊急措置として職員を派遣を決めました。

現在、J Aでは、大手飲料メーカーのキリンビールと提携し、辺塚だたいの果汁を使ったアルコール飲料の商品化を進めています。来年秋に発売予定で、今回の収穫作業には、同社の社員ら6名が、現地視察もかねて参加しました。

参加者らは、3ヶ所の園地を2日



辺塚だたいを収穫するJ A職員ら



スカットボールを楽しむ部員ら

JA女性部は10月4日、鹿屋市総合体育館で、令和元年度健康づくり大会を開き、各支部の部員ら約65名が、ニュースポーツなどで汗を流しました。

フリスビーを的に向かって投げる競技や、ゲートボールの要領で傾斜のついた的を狙うスカットボールなど、中には難しい競技も。コツをつ

笑顔でニュースポーツなど楽しむ

間かけて作業し、約2・3トンを収穫。参加した職員は「高所での作業もあり、改めて高齢者には大変な作業だと感じた。JA職員として、今後も生産者の声を大事に、柔軟に対応していきたい」と語りました。

今年産の収穫は、前年より約7ト増の約53トを目指しています。JAは、今後も関係機関と連携して、集荷体制の強化や販路拡大に取り組む方針です。



垂水支所「秋の感謝祭」の様子

かんた部員から教わるなど、交流を深めながら、時折、部員らの歓声や拍手が会場に響き渡りました。

参加した部員は「他の支部とも交流しながら、楽しく汗をかくことができた」と笑顔で語りました。

JA垂水支所は10月19日、同支所で令和元年度秋の感謝祭を開きました。

組合員や地域住民など約900名の来場者で賑わいました。

イベントでは、農業資材や野菜、加工品などを、特別価格で販売。自

垂水支所「秋の感謝祭」賑わう

JAの子会社「株式会社 佃きもつき」は、地域の魅力を広く発信しようと、11月22日、鹿屋高校近くにラーメン専門店「麵屋きもつき」をオープンします。



「麵屋きもつき」の外観

JAのラーメン店 『麵屋きもつき』オープン

自動車やガス器具、納期なども展示販売した。農業資材を安く販売することで、農業者の生産コスト削減を促します。

会場を訪れた組合員は「肥料や生産資材を、いつもより安価で手に入れた。毎年、イベントを楽しみにしている」と笑顔で語りました。

自己改革スタンプの見方

JA鹿児島きもつきは、「**農業者の所得増大**」・「**農業生産の拡大**」・「**地域の活性化**」という3つの基本目標を柱に、自己改革に向けて取り組んでいます。

記事にある自己改革スタンプは、その内容が、自己改革のどの基本目標に向けた取り組みであるかを表わしています。

麵屋きもつきのラーメンは、豚骨ベース。安心・安全な食材にとことんこだわり、スープとチャーシューは、お茶由来のカテキンを飼料に配合して育てた県特産の豚肉「茶豚豚（ちゃーみーとん）」を使用。麵は、国産小麦100%。サイドメニューのライスも、地元産のヒノヒカリを使用しています。

麵屋きもつきのコンセプトは「優しさ」。食材にこだわるだけでなく、作り方やサービスにも、優しさ愛情を持った一杯を提供できるように、スタップ一丸となって準備を進めています。

本誌折り込みチラシも合わせてご覧ください。

元気にグラウンドゴルフ 年金友の会279名出場

当JA年金友の会は9月27日、健康増進を図り、会員の親睦を深める目的で、第23回年金友の会グラウンドゴルフ大会を鹿屋市で開きました。

会員279名が参加。3コースに分かれて腕前を競いました。結果は「大塚原」、「たかくま」、「川西同好会」が各コースで団体優勝。準優勝の3チームから、代表者のニアピン対決を制した「共心」、「祓川



団体の部で優勝した3チーム

なかよし」の計5チームが、鹿児島市で11月7日に開かれる県大会に出場します。

団体の部の上位成績は、次のとおりです。

Bコース ▽優勝〓大塚原▽準優勝〓共心▽3位〓城元―5
Cコース ▽優勝〓たかくま▽準優勝〓祓川なかよし▽3位〓山吹
Dコース ▽優勝〓川西同好会▽準優勝〓鹿屋くるみ▽3位〓上之原互助会

2020年「千支ラベル」 受付開始

当JAは、オリジナル焼酎「きもつき浪漫」に、来年の千支「子」をデザインしたラベルを、本数限定で販売いたします。

お土産や贈り物などにおすすめです。11月下旬から、当JA各支所購買窓口にてお求めください。



2020年千支ラベル

直売所名称

「どっ菜市场」に決定

当JAでは、来年4月、鹿屋市笠之原町にオープンする農畜産物直売所と農家レストランの名称を募集しました。

厳正な協議・審査を行い、各部門の最優秀賞を採用作品として登録しました。各名称や応募総数は次のとおりです。

「どっ菜市场」

◆農畜産物直売所（応募総数185点）
〈名称の由来〉
地元産の新鮮な農畜産物が「どっさい」集まる直売所という願いを込めて。

「彩・食・豊・美」

◆農家レストラン（応募総数175点）
〈名称の由来〉
このレストランで彩りある食材を味わい、心豊かに美しくなるように。

入賞作品と同じ作品や類似した作品については、募集要項にもどづき抽選にて受賞者を決定しました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

JAでは、第3回農産物・加工品出荷希望者説明会を次の日程で開きます。詳しくは、JA直売所準備室0994-44-3114まで。



4月にオープンする「どっ菜市场」と「彩・食・豊・美」のイメージ

第3回

農産物・加工品出荷希望者説明会の日程

日程	会場
11月12日（火） 9時00分～	JA垂水支所
14日（木） 9時00分～	JA根占支所
15日（金） 14時00分～	JA串良支所
11月13日（水） 10時00分～	東地区学習センター 鹿屋市中央公民館

あぐりスクール

親子でお弁当作り&稲刈りを体験

当JAは10月20日、令和元年度あぐりスクールの第4回活動を実施しました。

今回は保護者も一緒に参加。午前中は、JA女性部員から教わりながら、郷土料理の「ガネ」をはじめ、玉子焼きやハクサイの漬物、おにぎりなどをお弁当にして、田んぼで食べました。

午後からは、JA青年部鹿屋支部の指導のもと、もち米の稲刈りと掛け干しを体験。最初は慎重に作業していたものの、徐々に保護者やスタッフも圧倒されるほど、児童らの刈り取るスピードが増していきました。

今回、刈り取った米や、児童らが前回の活動で植えた野菜は、12月7日(土)JA鹿児島きもつき大感謝祭の会場で、児童らが販売しますので、ぜひご来場ください。



JA鹿児島きもつき
第4回

組合長杯ゴルフコンペ参加者募集!!



開催日：令和元年11月28日(木)
 場所：ジェイズカントリークラブ鹿屋コース(鹿屋市上高隈町)
 資格：JA鹿児島きもつき管内の組合員(男女不問)
 定員：120名(30組)※定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。
 締切：令和元年11月20日(水)
 参加料：1,000円(プレー代別途)

参加をご希望される方は、JA各支所窓口までお申し付けください。





おじやんせ通信



J A 女性部・高齢者助け合い組織活動に関するお問い合わせは
J A 本所 企画広報課 0994-42-0096 まで

女性部垂水支部は10月9日、垂水市の特別養護老人ホーム「恵光園」を慰問しました。

同支部では、毎年行っている活動で、今年度は部員10名が参加。施設利用者へ、歌や踊りを披露しました。

ステージを降りて利用者の横を練り歩き「おはら節」を披露すると利用者も手拍子をする姿が見られました。

施設の職員は「利用者も毎年、J A 女性部の慰問を楽しみにしている。たくさん笑顔を見ることができた」と喜びました。

J A いきいき部会鹿屋支部は10月24日、重田地区公民館で、おじやんせ(ミニデイ)を開き、参加者10名で、ちぎり絵を取り入れたカレンダーを製作しました。

参加者は「絵に合わせて色紙をちぎることが難しい」と苦戦した様子でしたが、自由な発想でかわいらしい作品に仕上げました。

昼食には、筑前煮と「ほめられ酢」を使ったカボチャサラダを作って食べました。「ほめられ酢」は、J A 女性部の若手組織フレッシュミズとエコーコープが共同開発した、まるやかな酸味が特徴。参加者からも「カボチャの甘みが際立っておいしい」と好評でした。

ここがオススメ!



鹿屋支所
購買課 課長
中村 文作さん

J A 職員が「家の光」を読んで、
気になる記事をご紹介します!

家の光 11月号『清掃員は見た あなたの知らない「ゴミ」の真実』(P115)をご紹介します。

川にポイ捨てされるペットボトルは、年間数億本という事をご存知でしょうか?東京・荒川の清掃活動に取り組む団体「荒川クリーンエイド・フォーラム」によると、荒川に1年間で捨てられているペットボトルは、なんと4万本!日本には1万4000本以上の1級河川がありますから、日本中の川に捨てられるペットボトルは、単純計算しても約5億6000万本…。ちょっと想像がつかないくらいの数字です。川に捨てられたペットボトルはやがて海に流れ着きますが、400年以上も自然分解されません。それらが波や紫外線などで砕かれた「マイクロプラスチック」となって引き起こす海洋汚染は、今や世界中で問題となっています。秋の夜長にちょっと環境問題を考えてみるのもいかがでしょうか。

次回は、企画推進部 企画広報課 課長 有村 紀亮さんに
オススメ記事を紹介してもらいます!



11月号定価 617円 (税込)
定期購読 8,623円 (税込)
※9月号開始~翌年8月号まで

「家の光」のお問い合わせは、お近くのJ A 窓口 または J A 本所 企画広報課 TEL 0994-42-0096 まで

イベント情報

(一部変更になる場合があります)



11月19日(火) 子牛セリ市 (～21日まで)

11月22日(金) 「麴屋きもつき」オープン

11月20日(水) 年金友の会 根占支部総会

11月28日(木) 組合長杯ゴルフコンペ

11月21日(木) 年金友の会 田代支部総会

【売却のみ】

子牛セリ市成績表

(単位：頭・円) 価格は税抜き

項目	地区	鹿屋	垂水	串良	東串良	高山	内之浦	大根占	根占	田代	佐多	JA全体
総頭数		219	50	348	95	93	21	57	116	35	49	1,083
めす	頭数	94	22	163	40	33	13	32	57	14	22	490
	最高	941,000	878,000	1,003,000	1,355,000	1,010,000	1,014,000	905,000	834,000	851,000	913,000	1,355,000
	最低	367,000	450,000	132,000	474,000	445,000	434,000	436,000	430,000	604,000	493,000	132,000
	平均	622,904	651,591	633,706	660,850	679,667	652,923	647,469	615,105	698,071	633,091	638,804
去勢	頭数	125	28	185	55	60	8	25	59	21	27	593
	最高	1,107,000	1,066,000	1,198,000	984,000	1,132,000	1,000,000	1,007,000	1,105,000	917,000	992,000	1,198,000
	最低	445,000	419,000	218,000	481,000	436,000	701,000	501,000	350,000	566,000	432,000	218,000
	平均	713,056	738,143	715,086	757,745	728,533	787,375	740,600	735,322	782,000	732,185	728,277
総平均		674,361	700,060	676,968	716,947	711,194	704,143	688,316	676,250	748,429	687,694	687,795
前月比		-1,321	-4,218	-24,942	16,136	-6,073	-25,301	-5,861	-7,225	4,364	-31,399	-10,740
平均体重雌		274	272	275	275	286	258	285	280	290	269	276
// 去勢		304	296	303	303	302	300	310	318	320	315	306
総平均体重		291	285	290	291	296	274	296	299	308	294	292

子牛セリ種雄牛別成績表

種雄牛名	めす		去勢		合計	
	頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均
華春福	135	677,541	158	784,987	293	735,481
喜亀忠	115	628,896	131	710,878	246	672,553
秀幸福	77	641,442	82	718,537	159	681,202
若百合	58	648,793	64	721,922	122	687,156
華忠良	39	644,744	45	718,800	84	684,417
安亀忠	33	621,545	49	736,531	82	690,256
華春久	19	569,947	14	654,000	33	605,606
第7勝系	13	593,462	11	693,455	24	639,292
美国桜	1	753,000	15	619,400	16	627,750
金吉幸	5	564,200	5	675,400	10	619,800
益華福	6	599,833	4	623,500	10	609,300
隆之国	4	650,750	5	778,200	9	721,556
百合久	4	585,500	5	626,000	9	608,000
諒太郎	3	679,000	5	633,200	8	650,375
幸紀雄	1	764,000	5	777,000	6	774,833

〈JA畜産部から〉

季節の変わり目で、朝夕の気温差も大きくなることから、環境整備に努め、子牛の体調管理に気を付けましょう。



今年もやります！
組合員や地域の皆さまへ日頃の感謝を込めて…

第5回 JA鹿児島きもつき

大感謝祭

12月7日(土)・8日(日)

両日とも9:00開始

肝属中央家畜市場(鹿屋市田崎町 1147-1)



農畜産物の販売や生産資材の特売、ステージイベントなど盛りだくさん！
ご来場お待ちしております！！



知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAはなぜ銀行や保険会社のような事業をしているの？

A 信用・共済事業を通じて、組合員の営農とくらしを守り、より豊かにするためです。

協同組合のルーツの一つは信用・共済事業です。特に農村では、地域の人々がお金や米を出し合って積み立て、そこから困った人がお金を借りたり、災害に遭われた人にお金や米を援助したりするなどの仕組みが、草の根的につくられてきました。こうした地域の「相互扶助」の仕組みが、信用・共済事業として発展してきました。

JAの信用事業は、組合員間で資金を積み立てて融通し合うので「相互金融」と呼ばれ、組合員の営農やくらしに役立てられています。

JAの共済事業は、互いを信じ救い合う「相互扶助」の精神の下で行う非営利事業です。組合員のくらしを守るため、「ひと」「いえ」「くるま」などの保障を充実させています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

「協同の精神」に基づいて行われる JAの信用・共済事業

信用事業



JAとJA信連、農林中央金庫(農林中金)は「JAバンク」を構成して、金融機関として機能しています。JAバンクはグループ全体のネットワークと総合力で、農林水産業や国民経済の発展に貢献しています。

共済事業



JAとJA共済連が共同で共済契約を引き受け「JA共済」として保障を提供しています。JAはJA共済の窓口として各種手続きを行い、JA共済連は各種の企画、仕組み開発、資金運用、支払い共済金にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

耕そう、大地と地域のみらい。

+ 巡回健診日程 +

月	日	曜	地区
11	30	土	鹿屋 (～12月1日まで)

受付時間：午前7：30～

健診内容：特定健診、胃がん検診、腹部超音波検診、骨粗しょう症検診、前立腺がん検診、大腸がん検診、肺がんX線検診

+ 人間ドック日程 +

11月				12月			
日	地区	一般	女性	日	地区	一般	女性
22(金)	大根占	5	/	3(火)	鹿屋	10	5
26(火)	串良	5	5	4(水)	串良	5	5
28(木)	内之浦	1	/	23(月)	田代	2	1
29(金)	鹿屋	5	5				

お問い合わせはJA本所 企画広報課 ☎0994-42-0096
または各支所担当者までお気軽にご相談ください。

農業資金はJAバンクへ！

対象資金の融資を受けられる方に、
保証料を全額助成します。

＜対象資金＞

- ・農業近代化資金
- ・アグリメイク資金
- ・JA農機ハウスローン のいずれか



＜申し込み対象者＞

認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、
一定の条件を満たす農業者など

※原則、無担保・無保証人で
ご利用いただけます。

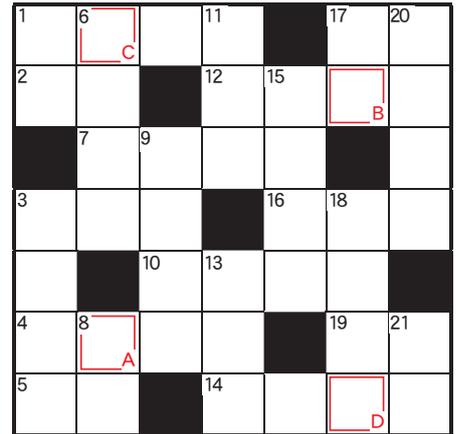
詳しくは、お近くのJAでお尋ねください。

頭の体操！ クロスワードパズル



二重マスの文字をA～Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



↓ タテのカギ

- ① ピーヒャララと吹きます
- ③ ご指導ご——のほどよろしくお願ひします。
- ⑥ 車を運転するのはドライバー、バイクの場合は
- ⑧ 日本人の主食です
- ⑨ ピサの斜塔がある国
- ⑪ 穂が美しい野草
- ⑬ 大きく立派な家のこと
- ⑮ 彼は上司にも——置かれる存在だ
- ⑰ 生兵法は大——のもと
- ⑱ 果物のこと。和食のコースでデザートをこう呼ぶことも
- ⑳ 映画や小説の大まかな内容のこと
- ㉑ 富有、次郎などの品種があります

→ ヨコのカギ

- ① ボジョレー・ヌーヴォーを輸出する国
- ② 沖縄の海にいるマンタもこの仲間
- ③ アルファとガンマの間です
- ④ 一つのコンセントに多くの機器をつなぐ——配線
- ⑤ マニキュアを塗る物
- ⑦ とても良いとされるおみくじの運勢
- ⑩ 不要な部分を省いて描きます
- ⑫ 灰皿にたまる物
- ⑭ 結婚式を行うこと
- ⑯ カエデの別名です
- ⑰ 化粧水や乳液でスキン——をした
- ⑱ 絵を描く職業の一つ

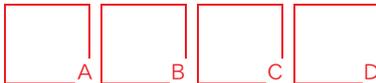
9月号の答え



解答

サ
フ
ア
イ
ア

クロスワードパズルの答え(2019年11月号)



氏名			年齢
			歳
住所	最寄りのJA		
			支所
電話番号	—	—	
今月号の気になった記事(感想)			

クロスワードパズルプレゼントの応募について

〈必ずお書きください〉

- ① 氏名、② 年齢、③ 住所、④ 最寄りのJA、⑤ 電話番号、⑥ 記事の感想

〈締め切りについて〉

地域によって、本誌がお手元に届く日が異なるため、応募締め切り日は設けておりません。次号が届くまでを目安にご応募ください。



- 川 畑 キク子さん(垂水)
- 川 邊 かず子さん(根占)
- 堀之内 とし子さん(高山)
- 前 原 芳 朗さん(根占)
- 畑 中 コリ子さん(鹿屋)

- 高齢化の進む過疎地域の住民にとって、きもつき浪漫号はヒーロー的存在。ライフラインの充実が求められる昨今、移動店舗車の担う役割はとて大きいと思う。(申良・68歳)

- 移動店舗車を楽しみに待っていてくださる方々が、本当にたくさんいらっしゃるのだなあと、取材を通して感じています。これからもよろしくお願ひします。

- 初めて畜産共進会を見に行きました。牛と人の根気強さ、そして牛の品格の良さに見とれました。

- あの緊迫した雰囲気と、牛や生産者の凛々しい姿は、やはり会場で見ると迫力が違いますよね！ぜひ、今後も応援と一緒に盛り上げましょう。





楽・らくレシピ

ゴボウと スペアリブの煮込み



材 料 (2人分)

スペアリブ・・・	4～5本	煮汁	
ゴボウ……………	1本	水……………	900ml
皮付きショウガ…	1片	しょうゆ…	200ml
下ゆでしたコマツナ	1束	みりん…	100ml
塩……………	適宜	料理酒…	100ml
		砂糖……………	100g

作 り 方

- 1 スペアリブにあて塩をしてビニール袋に入れ1晩置く。
- 2 鍋に①を入れ水から軟らかくなるまで下ゆです。
- 3 別の鍋に煮汁を合わせ、②と薄切りにした皮付きショウガ、食べやすい長さに切ったゴボウを入れ、強火で15分程度煮る。
- 4 器にスペアリブ、ゴボウ、食べやすい大きさに切ったコマツナを盛り付け、煮汁を回し掛け出来上がり。



若い頃からバレイショ栽培など、農業に携わってきた立切さん。現在は、スナップエンドウを約20アール栽培しています。スナップエンドウは、つるを這わせるネットを張る段階。立切さんは「芽が出てからネットに届くまでの間が、風にやられやすい」と話します。立切さんのスナップエンドウは、芽が雨風で倒れるのを防ぐため、竹の小枝で添え木するなど、独自の工夫を施しています。立切さんの畑は海に近い山間部にあり、周辺に強い風が吹きます。立切さんは、防風ネットで畑を囲み、添え木を立てることで苗を守っています。昨年度は、風で苗が折れることなく豊作だったそうで、「最後までずつと楽しかった」と笑顔の立切さん。今年さらには、畑の周囲に竹を使って防風柵を作成中。効率よく栽培して収量をさらに伸ばすことが目標だそうです。独自の工夫や作業の効率化で、楽しみながら農業に取り組む姿は地域でも有名。話しているだけで前向きな気持ちになるほど、向上心にあふれた立切さんでした。



表紙の人

佐多支所管内

立切 政男 さん
昭和12年5月30日生



理事会だより

第8回理事会を10月24日に開き、以下の議案について話し合いました。

協議事項

1. 高額融資について
2. 令和元年度中期ディスクロージャーについて
3. 子会社への役員派遣について
4. その他

編集後記

本誌2ページに掲載した抜穂の儀の記事について。大嘗祭は、天皇が皇位継承に際して行う皇室行事で、全国の農家の代表が、米と粟を供物として献上します。宮中には、供物をお納めする特別な社が建てられ、11月14日から、陛下が御身を清めて五穀豊穰をご祈念されるそうですが、実は秘儀で、祭祀の具体的な内容までは明らかにされていません。

天皇陛下が一代に一度だけ行う特別な宮中祭祀のタイミングに、当JA管内の生産者が本県の供物を栽培する代表として選ばれたご縁を、取材を通して本当に誇らしいと感じました。㊦

郵便はがき

63円切手を貼って郵送するか、切手を貼らずにJA支所窓口へご持参ください。

893-0016

JA鹿児島きもつき
広報誌「みのり」係

鹿屋市白崎町一番一号